

# 記載例

様式第1号の1

※書類補正等により届出書に修正があった場合は届出書の欄外に○字削除 ○字追加 と記載し、訂正者が署名する。

記載例

訂正者  
代理人 野本花子 (署名)  
五字削除  
三字追加

農地法第3条の規定による許可申請書

令和 5 年 9 月 11 日

東松山市農業委員会会長 あて

<受人>

住所 東松山市大字下野本〇〇〇  
氏名 松 山 太 郎  
電話番号 090-〇〇〇〇-△△△△

<渡人>

住所 東松山市大字下野本△△△  
氏名 野 本 次 郎  
電話番号 080-△△△△-〇〇〇〇

下記農地(採草放牧地)について(所有)権を(移転)設定)したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。

記

1 申請者の氏名等(国籍等は、所有権を移転する場合に受人のみ記載してください。)

申請者	氏名	年齢	職業	住所	国籍等	在留資格 又は特別 永住者
受人	松 山 太 郎	62	農業	東松山市大字下野本 〇〇〇	日本	
渡人	野 本 次 郎	82	農業	東松山市大字下野本 △△△		

2 許可を受けようとする土地の所在等

所在・地番	地目		面積(m <sup>2</sup> )	対価、賃料 等の額(円) (10a 当 たりの額)	所有者の氏 名又は名称 (現所有者が登 記簿と異なる 場合)	所有権以外の使用収 益権が設定されてい る場合	
	登記簿	現況				権利の 種類	権利者の氏 名又は名称
東松山市大字下野本 字田中◇◇◇	田	田	998	998,000円 (100万円 /10a)			

3 権利を移転し、又は設定しようとする事由の詳細と契約の内容

(譲受人) 自己所有農地に隣接しており、一体利用により効率化を図るため  
自家消費の野菜を作るため 等

(譲渡人) 高齢手不足で農業経営縮小のため (譲渡日) 許可後直ちに (期間) 永久

※権利を移転又は設定しようとする事由、時期、契約期間等を記載してください。

農地法第3条の規定による許可申請書（別添①個人用）

I 一般申請記載事項

<農地法第3条第2項第1号関係>

1-1 権利を取得しようとする者又はその世帯員等が、現に所有し、又は使用収益権を有する農地及び採草放牧地の状況

所有地		農地面積 (m <sup>2</sup> )	田	畑	樹園地	採草放牧地面積 (m <sup>2</sup> )
	自作地	① 6610	5132	1478		②
	貸付地					
		所在・地番		地目		面積 (m <sup>2</sup> )
			登記簿	現況		
	非耕作地					

使用収益権を有する土地		農地面積 (m <sup>2</sup> )	田	畑	樹園地	採草放牧地面積 (m <sup>2</sup> )
	自作地	③				④
	貸付地					
		所在・地番		地目		面積 (m <sup>2</sup> )
			登記簿	現況		
	非耕作地					

(記載要領)

- 1 「自作地」及び「貸付地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されているものの面積を記載してください。
- 2 「非耕作地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されていないものについて、筆ごとに面積等を記載するとともに、その状況・理由として、「～であることから条件不利地である」、「賃借人〇〇が〇年間耕作を放棄している」、「～のため〇年間休耕中である」等自らの耕作又は養畜の事業に供することができない旨を詳細に記載してください。

1-2 権利を取得しようとする者及びその世帯員等の機械の所有の状況、農作業に従事する者の数等の状況

(1) 作付(予定)作物、作物別の作付面積

	田	畑		樹園地			採草 放牧地
	水稲	ニンジン	玉ネギ				
作付(予定)作物	水稲	ニンジン	玉ネギ				
権利取得後の面積(m <sup>2</sup> )	6130	700	778				

(2) 大農機具又は家畜

種類 数量	田植機	トラクター	耕運機	コンバイン	
	所有 確保しているもの リース	1	1	1	1
所有 導入予定のもの リース (資金繰りについて)					

(記載要領)

- 「大農機具」とは、トラクター、耕運機、自走式の田植機、コンバイン等です。「家畜」とは、牛、豚、鶏等です。
- 導入予定のものについては、自己資金、金融機関からの借入れ(融資を受けられることが確実なものに限る。)等資金繰りについても記載してください。

(3) 農作業に従事する者

- ① 権利を取得しようとする者が個人である場合には、その者の農作業経験等の状況  
農作業暦 **40** 年、農業技術修学暦 年、その他( )

② 世帯員等その他常時雇用している労働力(人)	現在: <b>1</b> 人 (農作業経験の状況: <b>農業歴30年</b> )
	増員予定: 人 (農作業経験の状況: )
③ 臨時雇用労働力(年間延人数)	現在: 人 (農作業経験の状況: )
	増員予定: 人 (農作業経験の状況: )

- ④ ①~③の者の住所地、拠点となる場所等から権利を設定又は移転しようとする土地までの平均距離又は時間 ① **5分・0.5 km** ② **5分・0.5 km** ③ 分・ km

<農地法第3条第2項第3号関係>

- 3 信託の引受け該当有無 (以下の該当するものに○を付してください。)

信託の引受けによる権利の取得

有	<input checked="" type="radio"/> 無
---	------------------------------------

<農地法第3条第2項第4号関係> (権利を取得しようとする者が個人である場合のみ記載してください。)

4 権利を取得しようとする者又はその世帯員等のその行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業への従事状況

氏名	年齢	職業	権利取得者との関係 (世帯員以外はその住所も)	年間従事日数
松山太郎	62	農業	本人	250日
松山花子	60	農業	妻	250日

その者の農作業への従事状況(該当する期間(実績又は見込み)を「←→」で示してください。)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
その行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業の期間			←→									
その者が農作業に常時従事する期間			←→									

(「農作業に常時従事する期間」とは、その期間、必要な農作業(耕うん、播種、施肥、刈取り等)にいつでも従事できる状態にあることをいいます。)

<農地法第3条第2項第6号関係>

6 周辺地域との関係

権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における耕作又は養畜の事業が、権利を設定し、又は移転しようとする農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼす影響を記載してください。(例えば、集落営農や担い手への集積等の取組への支障、農薬の使用方法の違いによる耕作又は養畜の事業への支障等について記載してください。)

特になし